

目指す児童像

『教えて考えさせる授業』づくりの実践 ～学び合い、認め合う仲間づくりをめざして～

- 1 単元名 「めざせ! マットの達人」(器械運動「マット運動」)
- 2 重点項目(『教えて考えさせる授業』実践のための10のポイントより)
 6. 「理解確認」では、子どもたち同士で説明し合ったり、教え合ったりする活動を行わせる。

3 単元について

(1) 児童について

本学年は、運動好きな児童が多く、休憩時間はほとんどの児童が外で遊んでいる。ただ一方で、教室での遊びを好む児童もあり、個人差が大きい。しかし、器械運動については、前学年までの器械・器具を使った運動で、体を回転させたり、手を使って体を支えたりする運動にみんなが意欲的に取り組み、楽しさを味わうことができた。1学期に実施した新体力テストの結果から、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」について課題があることがわかった。このマットを使った運動を学習することで、柔軟性や巧緻性を高め、運動の楽しさを十分に味わい、日常生活でも体を動かしていこうとする意欲が持てるようにしていきたい。

(2) 単元構成について

本単元は、学習指導要領第3学年および第4学年の内容2B「器械運動」に示された指導事項のうち、A「マット運動」の指導のために設定されたものである。基本的な回転技や倒立技に取り組み、それぞれについて自己の能力に適した技ができるようにすることがねらいである。児童は前学年までに器械・器具を使った運動遊びにおいて、易しい動きの回転技や手を使っての支持系の技を学習している。本単元では、手や足、姿勢などに気をつけて、正しいフォームでの回転技や支持技の体得をめざして学習していく。

(3) 指導にあたって

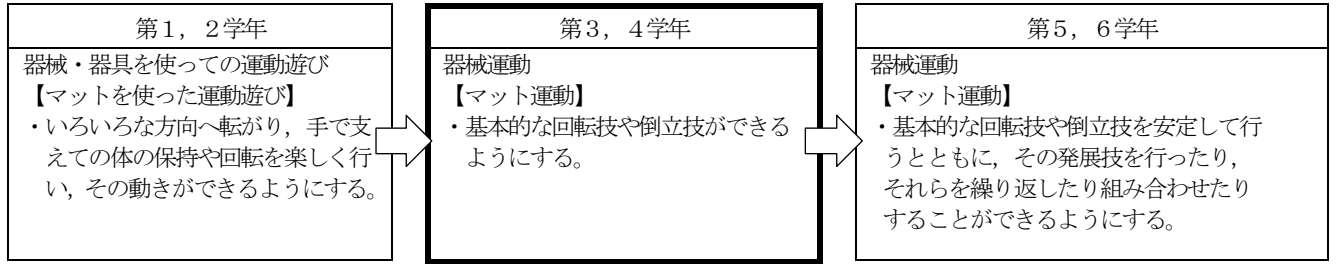
マット運動に必要な運動感覚(回転・接転・腕支持・逆さ・体の締め)をつくるために、単元を通して毎時間学習のはじめにリズムダンスを取り入れる。そして、技に関連した支える学習を取り入れ、基本的な体の動きを習熟しながら、特訓コーナーや選択コースを設けて進んで課題に取り組めるように場を設定する。また、見通しをもって学習に取り組ませるために、第1時では、6年生と合同で学習をし、基本的な技のポイントや動きを6年生から学ぶ機会を設ける。そこで受けたアドバイスをキーワードやオノマトペとしてまとめ、技の習得に必要なポイントを各時間に掲示し、いつでもそのカードを見て、技のポイントが確認できるようにしておく。そして、理解確認では、グループごとに技を見合い、上手くできているポイントや達成できていない技能ポイントを確認しながら各技に挑戦させる。友達の動きを見て、どんな様子かを伝えたり、いいところを見つけたりすることで互いに励まし合い、学び合う気持ちを高めていきたい。教えてもらったことで、技ができるようになり、自信をつけ、できる楽しさや喜びを感じさせ、マット運動が苦手な児童が楽しかったと思える学習を目指したい。また、理解深化では、基本的な技に十分取り組んだ上で、技を選び、技を組み合わせた、繰り返したりして、児童自らが運動の楽しさや喜びを味わえるように図っていきたい。

(4) 人権教育の視点

C6「友達と協力して目標を達成しようとする。」

理解確認や理解深化で、互いにかかわり合い、助言や補助をすることで「できる」喜びや「楽しさ」を味わわせる。ふりかえりでは、互いの努力や工夫を認め合う場を設け、自信や意欲を持って次の学習へ向かえるようにしたい。友達と協力し合うことが他の生活場面でも生かされるような学び合いをめざしたい。

4 指導の系統



5 単元目標

- 進んで運動に取り組み，きまりを守り，安全に気をつけて仲よく運動することができる。 (態度)
- 自己の能力に適した課題をもち，場を選んだりすることができる。 (思考・判断)
- 基本的な回転技や倒立技について自己の能力に適した技ができるようにする。 (技能)

6 単元の計画 (全6時間扱い：本時 4/6)

		1時	2時	3時	4時 (本時)	5時	6時	
0分	オリエンテーション	<u>支える学習 (予習確認)</u> 川とび・丸太転がり・横転がり・おうまさん・かえるの足うち・アザラン歩き ・肋木登り逆立ち・ゆりかごからの起き上がり						
	「達人」に学ぶ							
学習内容	・学習の進め方を知る。	<u>基本学習 (理解確認)</u> 【回転技】 ○前転 ○後転 【倒立技】 ○壁倒立 (補助あり)						「達人の技」 発表会
	・準備の仕方やきまり，安全について確認する。							
45分	・基本的な技のポイントを知る。	【回転技】 ○開脚前転 ○開脚後転 【倒立技】 ○壁倒立 (補助なし) ○側転 (側方倒立回転)						
	・発展学習 (理解深化)							
ふりかえり								
評価の計画	関意態	②	①					
	思判			①		②		
	技能				①		②	
評価規準	関心・意欲・態度	① 自分の力に合った課題を持って，進んで取り組もうとする。		① 技のポイントについて考え，自分のめあてがもつことができる。		① 技のポイントを押さえて，転がる運動や手で支える運動をすることができる。		
	思考・判断	② 友達と励まし合って運動したり，協力して器械や器具の準備，後片付けをしたりしようとする。		② 自分に合った技を選び，練習方法や練習の場を適切に選んでいる。		② 運動の特性に応じた技能を身につけ，繰り返しや組み合わせ技を行うことができる。		
技能								

7 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・技に合った体の使い方を理解して、基本的な技（前転・後転）や発展的な技（開脚前転・開脚後転）に取り組んだりすることができる。

(2) 準備 マット 踏み切り板 コーン ヒントカード（技のポイントを掲示） 学習カード CD

(3) 学習課題

①習得させること

- ・開脚前転・開脚後転の大切な技のポイントを、キーワードやオノマトペを使って理解させる。
- ・技を組み合わせたときの姿勢や正しい手足の動きを理解させる。

②困難度査定（予想される児童のつまづき）

- (ア) 体の使い方が上手くつかめず、なめらかに回転したり、素早く立ち上がったたりすることができない。

③深化問題

- ・自分に合った技を繰り返したり、組み合わせたりする練習に取り組ませる。

④予習について

- ・次の時間に自分ができるようになりたい技や技のポイントを考えて学習カードに記入させる。

(4) 展開

	教師からの説明・課題提示	児童の学習活動	教師の支援（・）評価※
教える 15分	1 集合、整列、あいさつをする。 ・場づくり ・準備運動（リズムダンス）	・集合、整列、あいさつをする。 ・チームで場づくりをする。	・元気のよい挨拶ではじめ、すばやく協力して場作りをしているチームを褒める。 ・リズムダンスで楽しい雰囲気を作る。(T2)
	2 支える学習をする。 川とび・おうまさん・かえるの足うち・アザラシ歩き・ゆりかご・大きなゆりかごからの起き上がり・馬とび・肋木よじ登り逆立ち (腕支持や回転感覚をつかませるための運動。)		・安全に気をつけて行うように声かけをする。
考える 25分	【教師からの説明】 3 本時のめあてを確認する。 ・これまで学習した技のポイントについて確認する。 (手、足、位置、リズムなど) ・本時で新たに挑戦する技について説明する。 ④回転させた両足をまっすぐ伸ばしてから開く。	・前時までの活動をふりかえる。 ・前時までの技とのちがいを考えながら聞く。	・手や足の位置、姿勢、体の使い方について考えさせる。 ・映像資料やヒントカードを使って新たな技のポイントを示す。
	開きやく技（開きやく前転・開きやく後転）に挑戦しよう。		
考えさせる 25分	【理解確認】 4 場を選んで練習をさせる。 (チャレンジタイム) ・開脚前転、開脚後転に取り組ませる。	・チームのメンバーでお互いに声を掛け合い練習する。 ・練習の場はグループごとにローテーションで回る。	・ヒントカードを使い、新たに開脚技に取り組ませる。 ・Y児の安全に配慮する。(T2) ・上手く回れない児童には、傾斜のある練習の場を用意し、個別指導できるようにしておく。(ア)
	5 チームで話し合わせる。 ・「手を開いて構えている」 「両手でマットを押している」 「ひざがまっすぐ伸びている」	・各チームの練習を振り返る。 ・ヒントカード以外のポイントについて考えて発表する。	・よい動きを紹介して全体に広め、課題に対してはどうしたらよいかを考えさせる。(T1, T2)

	<p>「素早く回転している」 「まっすぐ立てる」 などの動きのポイントを見つけさせる。</p>		
	<p>【理解深化】 6 技の繰り返しや組み合わせを考えて練習をさせる。 (ステップアップタイム) ・3つのコースの中から選んで挑戦させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>1 前転・後転のくり返し 2 前転・後転と開脚技の組み合わせ 3 3種類の技の組み合わせ</p> </div>	<p>・自分のできそうな技を考えてコースを選び練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>はげましの声・ポイントの声 ・よく腕が伸びているよ。 ・回転する速さが速いね。 ・「すっ」と立ち上がれているよ。 ・足がまっすぐで姿勢がいい。 ・大きく回転できているよ。</p> </div> <p>・同じコースを選んだ仲間、互いの技が正しくできていたか確認し合う。</p>	<p>・練習中に、よい動きや言葉かけが見られたとき賞賛する。</p> <p>・はげましの声・ポイントの声を取り上げる。</p> <p>※開脚前転や開脚後転の正しい体の使い方を理解して、練習することができる。技①（観察）</p>
自己評価 5分	<p>【自己評価】 7 学習のまとめをする。 ・学習カードを使ってできたことやわかったこと、友達のよかったところを発表させる。 ・次の時間のめあてを記入させる。</p> <p>8 後片づけ、あいさつをする。</p>	<p>・本時の学習を振り返り、学習カードにまとめる。</p> <p>・〇〇さんに教えてもらって体の使い方がわかってきた。</p> <p>・足を素早く開くと開脚技が上手にできるとわかった。</p> <p>・□□さんが、一生懸命に練習していた。</p>	<p>・できるようになったことやどんなポイントに気がつけたかを発表させ、技能ポイントの共有化を図る。</p> <p>・よいかかわりをしている児童やチームを紹介し、全体を賞賛する。</p> <p>・全体での発表による児童同士の認め合いを通し、学習の満足感、次時の意欲へつなげる。</p>

8 場の設定

